

学校教育の野外教育における現状と関わりの苦肉の策

氏名 西垣幸造 (OBJ 尼崎市立美方高原自然の家)

コロナ以前の学校の野外教育

自然学校 5年生 4泊5日 3校

コロナ禍の状況変化

コロナ拡大期での状況

施設休館

学校休校→夏休みの短縮

ガイドライン

自然学校の日程変更 (5・6月)

4泊5日→2泊3日→0泊1日

コロナ禍で自然学校支援とは？

自然学校の利用のない状況で！

学校教育への関わりの苦肉の策

尼崎市教育委員会との連携

職員派遣による自然学校支援

支援が必要な学校調査

41校→24校+α (事前・事後のみ)

コロナ禍の自然学校 (要望の変化)

企画指導型→活動現場支援のみ

事前学習・本番・事後学習にむけて

学校の支援内容とは？

施設から指導員の派遣にむけて

新しい生活様式とプログラム

マスク・手洗い・ソーシャルディスタンス等

感染状況に対応した内容

提供プログラム例と苦勞した点

これからの課題



学校の野外教育 (兵庫県尼崎市立小学校5年生等)

コロナ以前 (2019年度)

自然学校 5年生 (4泊5日) 31校

オリエンテーション合宿等 (中学校4月5月)

キャンプ実習 高校体育科 2泊3日

コロナ禍の状況変化 (施設休館・学校休校・夏休みの短縮)

尼崎市の小学校自然学校の経緯 (兵庫県下の各教育委員会単位で判断)

4月 2学期から4泊5日実施を模索

5月 2学期から2泊3日実施で模索

6月 2学期から0泊1日実施決定

尼崎市立美方高原自然の家での実施0校



自然学校とは？

兵庫県の自然学校推進事業の主旨

学習の場を教室から豊かな自然の中へ移し、
児童が人や自然、地域社会と触れ合い、理解を深めるなど、
長期宿泊体験を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、
よりよく問題を解決する力や、
生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、
「生きる力」を育成することを目的とする。



**OUTWARD
BOUND**

尼崎市立美方高原自然の家

<http://obs-mikata.org>

要望の変化（コロナ禍の自然学校）

1 児童にできるだけ自然体験活動を提供したい。

〇泊1日と（事前学習・事後学習）

教科学習もしなければならない。

どうする？事前学習と事後学習

2 当日のサポートスタッフがほしい

サポートの学生リーダーが集めにくい（コロナ禍・平日実施）

3 不慣れな施設・不慣れな野外活動

野外教育の相談や助言を受けたい



感染拡大防止

学校側：行事実施判断・児童の健康管理（検温、マスク、手洗い指導等）

施設職員側：活動中の感染拡大防止（マスク・消毒・ソーシャルディスタンス等）

感染状況に対応した内容

例 野外炊事 共同調理→レトルトカレーを湯煎・使い捨て食器
課題解決ゲーム 身体接触あり→身体接触を伴わないゲーム

プログラム例

- ・ 事前学習授業（キャンドルサービスの運営等について）
- ・ 施設の地元講師が行う地域学習と「とちもち」作り
- ・ 学校内での基地づくり、野外炊事、夜のつどい
- ・ フィールドアスレチックでの安全支援、ウォークラリー支援、自然観察
- ・ 野外炊事支援・草木染、藍染・火熾し・ロープワーク・あまごづかみ支援
- ・ キャンプファイヤー・キャンドルサービス・焼き板工作支援



苦勞した点

- ・ 6月に自然学校の利用先を探して決める。
早々に利用内容とスケジュールを決めなければならなかった。
- ・ 0泊1日 時間的余裕がないスケジュール
できるだけ多くの活動をさせてあげたい
- ・ コロナ禍、教育効果を高める手立て。
ふりかえりの時間が・・・十分とれない。
後日、活動をふりかえる作文
めあてに対しての自己評価と作文など
- ・ 活動中、油断すると距離が縮まる。

課題（コロナ禍であっても）

- ・ 先生方の思いを具体的な教育目標（事業目標）へ
- ・ 時間にゆとりある活動の提供
- ・ 基本的なコロナ感染拡大防止策の遵守
 - しっかり手洗い
 - できるかぎりマスク着用

ご静聴いただき、
誠にありがとうございました。



**OUTWARD
BOUND**

尼崎市立美方高原自然の家

<http://obs-mikata.org>

